

ふれあいネットワーク

令和 3年 7月

182号

社協だより

発行 社会福祉法人
本別町社会福祉協議会

住所：北海道中川郡本別町西美里別6番地 15 本別町総合ケアセンター内

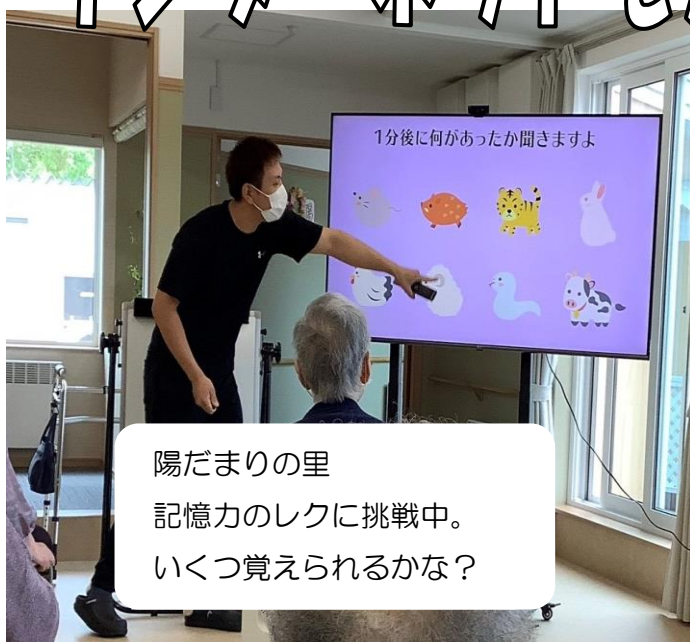
電話：22-8320

FAX：22-5565

URL：http://www.shakyo.or.jp/hp/166/

E-Mail：hon-sya@bz01.plala.or.jp

インターネットを活用した取り組み



陽だまりの里
記憶力のレクに挑戦中。
いくつ覚えられるかな？



デイサービス
脳トシで、脱出ゲームに挑戦！
無事脱出 できるかな？



清流の里
iPad でぬりえに挑戦中。
濃淡も付けられます。



ゆうあいの里
利用者様の趣味のばんえい競馬を
You Tube で観戦中。

この社協だよりは共同募金助成金で発行されています。

令和2年度 本別町社会福祉協議会 事業報告

令和2年度の事業の一部をご報告させていただきます。ホームページ(表紙に記載のURL)により詳細な事業内容を掲載しておりますので、合わせてご覧ください。

本別町社会福祉協議会

より詳細な事業内容は、社協ホームページの左側メニューより、「本別町社会福祉協議会について」をクリックしてご覧ください！

職員は、様々な技術や新たな知識を深めるため、様々な研修の実施や参加に取り組んでいます。

【令和2年度の主な研修】

- ・新型コロナ等感染症対策研修(全3回)
- ・社協活動WEBセミナー(全3回)
- ・ゆうあいの里コロナ振り返り研修
- ・介護報酬改定研修 他



介護事業所では、新型コロナ感染予防対策として、非接触型体温計・自動消毒器や飛沫防止のパーテーションを設置し、コロナ禍における感染拡大に充分留意しながら、地域生活に必要な介護サービスの提供を続けています。

(左の写真は、介護事業所で感染防止対策を取りながら食事をしている様子)

「あんしんサポートセンター」では、日頃から地域で、話し相手や買い物支援、趣味活動の相手などの生活支援や金銭管理支援の活動に取り組んでいただいている『あんしんサポーター』の養成と支援活動に役立つ知識を深めてもらうための研修を、3月に3日間の日程で実施しました。

(右の写真は、地域での新たなつながり方を学ぶための「Zoom」研修の様子です)





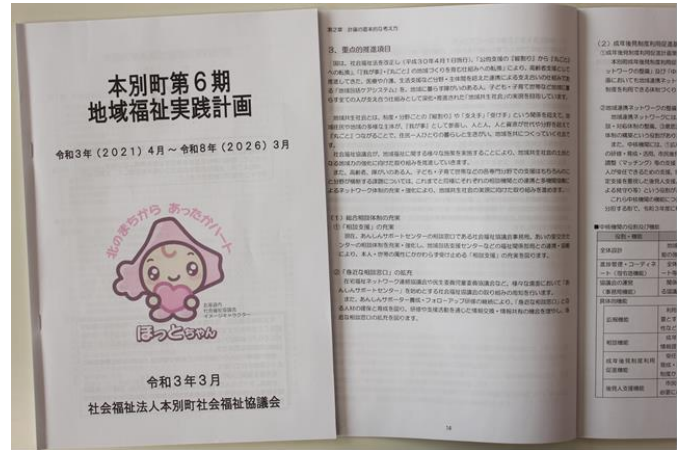
本別町との間で大規模災害が起きた時など災害ボランティアの活動調整を行う組織として「災害ボランティアセンター」を設置し、運営は社会福祉協議会が行う協定を結びました。合わせてコロナ禍でも対応できる運営マニュアルも作成しました。

砂原会長は、「災害はいつ来るかわからない、地域住民が安心できるように取り組んでいきたい」と社会福祉協議会として決意を述べました。

社会福祉協議会の活動・行動計画となる第6期地域福祉実践計画を令和3年3月に策定しました。

計画は、令和3年度から令和7年度にかけて社会福祉協議会が取り組む事業、地域住民同士が支え合う在宅福祉ネットワーク活動やボランティア活動などを推進するために策定した計画となっています。

また、町地域福祉計画等との整合性を図った計画となっています。



介護保険・障がい者福祉サービス事業の運営内容

事業名	月平均実人数	延べ利用回数
ホームヘルプセンターほんべつ		
訪問介護	33.5人	3,634回
障害者居宅サービス	38人	373回
デイサービスセンターほんべつ		
通所介護	50.5人	3,698回
通所型介護予防事業		
通所型介護予防事業	24.3人	883回
高齢者向け賃貸住宅の運営		
		稼働率
本別北高齢者賃貸住宅	8室中7室	87.5%
仙美里高齢者賃貸住宅	7室中7室	100.0%
勇足高齢者賃貸住宅	7室中7室	100.0%
北8戸建高齢者賃貸住宅	1室中0室	0.0%

事業名	月平均実人数	延べ利用回数
小規模多機能型居宅介護		
仙美里	通所	22.8人 4,270回
陽だまりの里	訪問	8.6人 4,095回
3月末利用者 23名	宿泊	5.5人 1,505回
勇足	通所	22.5人 3,578回
ゆうあいの里	訪問	12.6人 5,828回
3月末利用者 21名	宿泊	9.2人 1,156回
本別北	通所	23.4人 4,881回
清流の里	訪問	15.0人 5,735回
3月末利用者 21名	宿泊	7.8人 1,579回
本別北障害者短期入所事業		0.8人 106回
勇足障害者短期入所事業		0.8人 134回

令和2年度 本別町社会福祉協議会 決算書

(単位：円)

収 支	科 目 名 称	令和2年度決算額	割 合
収 入	会費収入	3,242,200	0.75%
	寄附金収入	17,038,621	3.95%
	経常経費補助金収入	83,219,298	19.30%
	受託金収入	33,418,570	7.75%
	貸付事業収入	150,000	0.03%
	事業収入	10,196,092	2.36%
	介護保険事業収入	246,268,749	57.10%
	老人福祉事業収入	17,384,354	4.03%
	障害福祉サービス等事業収入	3,925,420	0.91%
	その他の収入	4,061,270	0.94%
	事業活動以外の収入	12,368,000	2.87%
収入合計 (A)	431,272,574	100.00%	
支 出	人件費支出	288,786,205	64.94%
	事業費支出	53,637,028	10.75%
	事務費支出	15,633,164	5.36%
	利用者負担軽減額	2,836,463	0.37%
	貸付事業支出	64,034	0.05%
	助成金支出	1,725,900	0.59%
	その他の支出	1,647,704	0.38%
	事業活動以外の支出	54,218,674	17.55%
支出合計 (B)	418,549,172	100.00%	
当 期 資金収支差額 (C=A-B)	12,723,402	この数字がプラスの場合は黒字、マイナスの場合は赤字となります。	
前期末 支払資金残高 (D)	68,037,443	—	
当期末 支払資金残高 (C+D)	80,760,845	—	

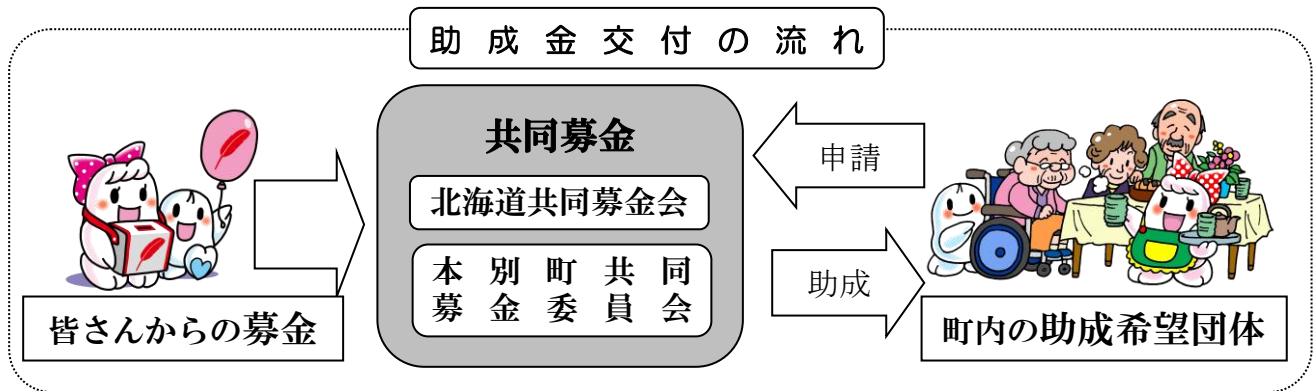
令和2年度の事業報告・決算の詳細につきましては、社協事務局までお問い合わせください。(電話：22-8320)

赤い羽根共同募金より本年度の助成を行いました



5月28日(金)に あいの里交流センターで赤い羽根共同募金の助成金を、社会福祉協議会や町内の福祉団体など計13団体に手渡しました。

今回の助成金は、昨年10～12月の赤い羽根共同募金運動において町民の皆様からご協力いただいた募金を、町内の福祉活動等に活用していただくために助成しています。



本年度の助成は・・・

※本年度の助成詳細については、次号で紹介します。

地域福祉推進事業として

☆社会福祉協議会 [高齢者運動会ほか]	10事業	765,000円
☆在宅介護者を支える会ほか	11団体	
	12事業	385,000円



= 本別町限定のピンバッジ募金に協力ください =

本別町共同募金委員会では、本別町限定の「元気くん」と「本別町開町120年」、「赤い羽根」を組み合わせた『ピンバッジ』を作成いたしました。

ピンバッジは、1個500円の販売となっており、バッジを購入いただいた金額の一部が募金となり、本別町内の高齢者・障がい者・子育て支援事業に取り組んでいるボランティア団体等や社会福祉協議会事業などに活用されます。

社会福祉協議会事務局（町総合ケアセンター）又は、あいの里交流センター（北6丁目）で販売しておりますので、皆様のご協力をお願いいたします。



～事業所特集～

本別北小規模多機能型居宅介護事業所「清流の里」

清流の里で取り組んでいる独自の行事を紹介します！



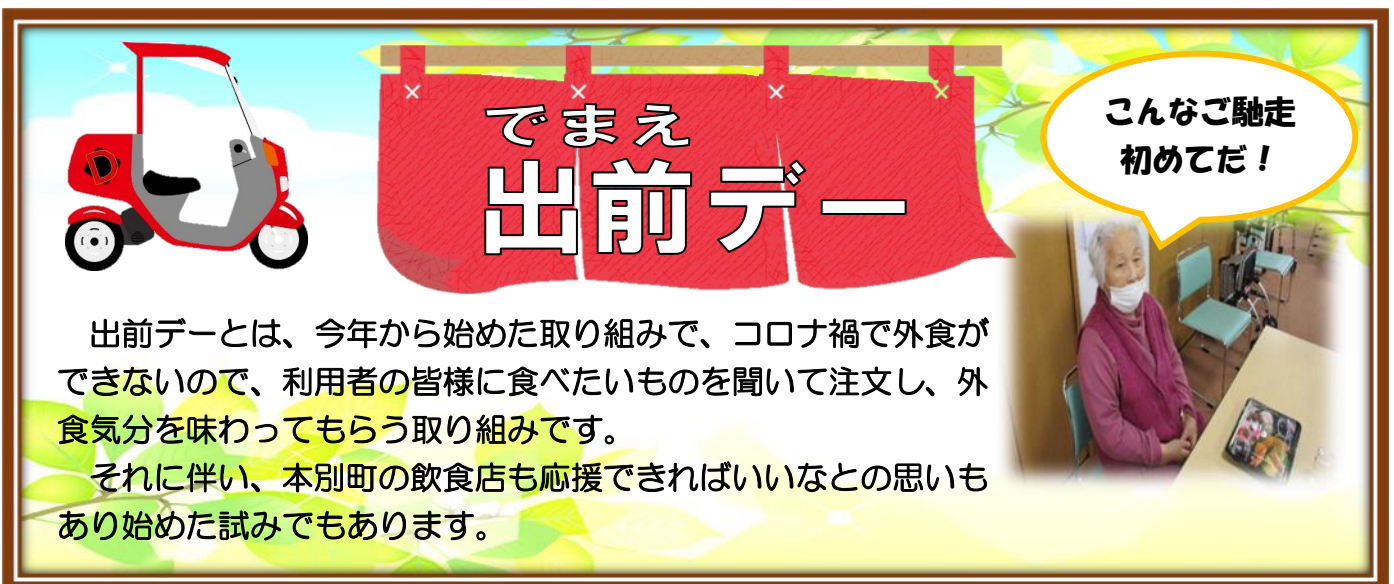
料理をしたい！

ゆめかなえ
夢叶え

桜を見に行きたい！

夢叶えとは、利用者の皆様に、より良い生活を送っていただくため、利用者の皆様の夢を1人ずつ叶える清流の里ならではの取り組みです。
新型コロナウイルス感染症の影響により、できることも限られますが、その中で感染症対策を行い、利用者の皆様に楽しんでもらえるよう尽くしています。（例：料理を作りたい など）

馬を見に行きたい！



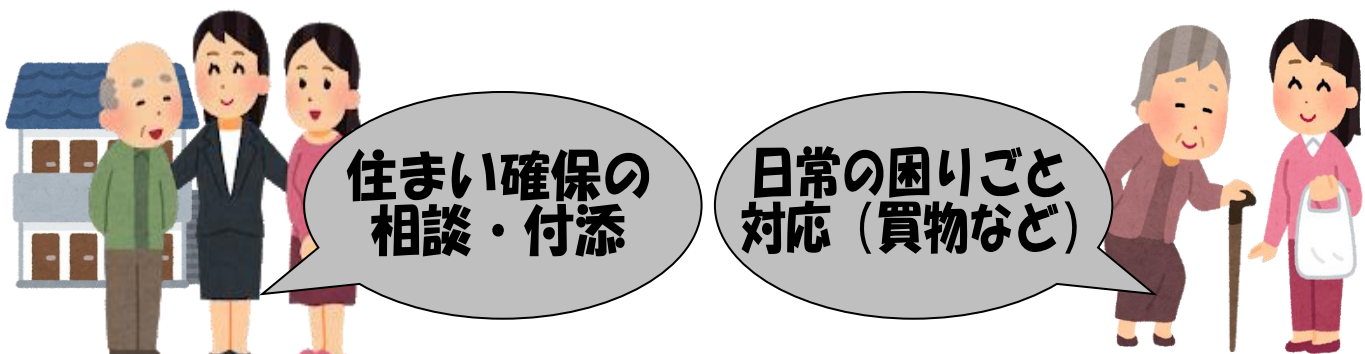
でまえ 出前デー

こんなご馳走 初めてだ！

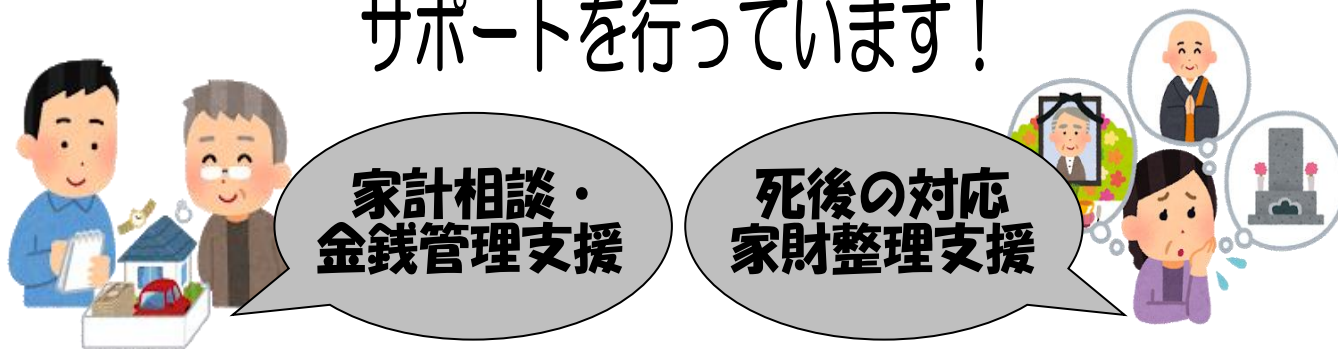
出前デーとは、今年から始めた取り組みで、コロナ禍で外食ができないので、利用者の皆様に食べたいものを聞いて注文し、外食気分を味わってもらおう取り組みです。
それに伴い、本別町の飲食店も応援できればいいなどの思いもあり始めた試みでもあります。

住まいの確保にお困りの方 ご相談ください!!

本別町社会福祉協議会では、北海道から居住支援法人*の指定を受けて、「新たな住まいに住むため」「今の住まいに住み続けるため」の支援を行っています！
それ以外にも、「お金の管理に困っている」「保証人が見つからなくて困っている」「自分が亡くなった後に片付けなどをお願いできる人が居ない」といった様々な困りごとへの対応も行っていますので、ぜひご相談ください！



住まいの「入居前」から
「退去後」までの継続した
サポートを行っています！



※居住支援法人とは…

低所得者・高齢者・障がいのある方などの住宅確保に配慮の必要な方が、民間賃貸住宅へ入居できるように、家賃債務保証の提供や入居に関する相談、見守りなどの支援を実施する団体として、都道府県に指定されたものです。

社会福祉協議会（居住支援相談窓口）

[営業時間]

月～金 8:30～17:30

☎ 28-0101

「成年後見制度」と「市民後見人」について学んでみませんか！

本別町では、平成24年度から2回目となる「市民後見人養成研修」を9月9日（木）から5日間の日程で行います。

この養成研修に先立ち、認知症などにより判断能力が十分でない人に代わって、福祉サービスの契約や財産管理などを行う『成年後見制度』と『市民後見人』の役割について学ぶための事前研修会を開催します。

本研修会は、本別町・足寄町・陸別町の3町が合同で企画し開催するものです。
 詳細な日程など、町広報誌の折込チラシにも記載していますので、あわせてご覧ください。

日時 令和3年7月10日（土）
 10時00分～12時00分

会場 本別町中央公民館 視聴覚室

講師 東京大学特任専門講師 東 啓二 氏

申込・問い合わせ先 本別町社会福祉協議会（電話：22-8320）

申込期日 7月7日（水）まで



ご寄附ありがとうございます!!

金銭・物品寄附

令和3年4月16日～令和3年6月15日

< 金 銭 >

(敬称略)

< 物 品 >

(敬称略)

北6丁目	鴨志田 直次	
社協一般福祉事業指定		50,000円
南2丁目	千葉 輝男	
南2丁目自治会指定		50,000円
北8丁目	岩谷 陽子	
本別地域訪問看護ステーション指定		30,000円
美里別東上	篠原 英嗣	
デイサービスセンターほんべつ指定		50,000円
仙美里小規模多機能型事業所「陽だまりの里」指定		50,000円
アメニティ本別指定		100,000円
匿 名		
本別北小規模多機能型事業所「清流の里」指定		30,000円

本別町市街地婦人会	
デイサービスセンターほんべつ指定	タオル20枚
仙美里小規模多機能型事業所「陽だまりの里」指定	タオル28枚
勇足小規模多機能型事業所「ゆうあいの里」指定	タオル30枚
本別北小規模多機能型事業所「清流の里」指定	タオル50枚
柏木町	阿部 ハヤ子
デイサービスセンターほんべつ指定	肌掛布団2枚
匿 名	
西仙美里自治会指定	
	スズメバチ駆除携帯スプレー180ml 20本